

新人漫画家
大応援

ちばてつや賞
大特集

ちば
てつや賞
とは?

ちばてつや賞は
ヤングマガジン最高峰の
新人賞。数々の作家を
輩出してきた伝統があり、
デビューへの王道であり
近道です。年2回の開催で、
漫画界のレジェンド・
ちばてつや先生ご本人が
読んで、受賞作を決定します。

漫画のヒントは
現実にある!!!
転がっている!!!

2020年ヤングマガジン9号より

『ボーイズ・ラン・ザ・ライオット』の連載をスタートした

学慶人は、第77回ちばてつや賞にて優秀新人賞を受賞した、ちばてつや賞

出身作家! 学氏の漫画に対する姿勢、ちばてつや賞から得た見識を惜しみなく聞いちゃいました!

学慶人 PROFILE

第77回ちばてつや賞ヤング部門にて優秀新人賞を受賞。『ボーイズ・ラン・ザ・ライオット』で連載デビュー。自身も身体は女性として生まれたが、心は男性のトランスジェンダーである。



第77回ちばてつや賞
ヤング部門優秀新人賞
『明るい』



「チム」から読めます

2020年1月より連載中!

BOYS RUN
THE RIOT

ボーイズ・ラン・ザ・ライオット

次ページよりインタビュー
はじまりはじまり♪

第1話は
コチラから読めます



ちばてつや賞 受賞まで

ヤンマガで漫画家になりたいと思ったのは、父の影響ですね。自分が小さい時から、父は月曜日になるといつもヤンマガを買って帰ってきました。身近な雑誌、という印象がずっとあったので、漫画家を目指す際には、ヤンマガの賞に出したいな、と思っていました。

「忘れられるんじゃないか」という恐怖

——その縁もあってか、ヤンマガで担当がつき、新人賞向けの作品を作っていたと思いますが、その時気をつけていたことはありますか？

新人の時の自分は怖がりなところがあった。「こちらから連絡を取らないと、担当の編集者に忘れられるんじゃないか」と恐れていたんです。なので、毎週1回か、2週間に1回は編集者と打ち合わせをする、と決めていました。そして、打ち合わせをする上での土台となるものを毎回用意していくようにしました。

——土台とはネームなどでしょうか？

はい。ただベストはネームですが、まだネームに入る段階でない場合には、A4サイズにおさまるくらいのプロットや企画を用意してましたね。完璧なものを見せたい

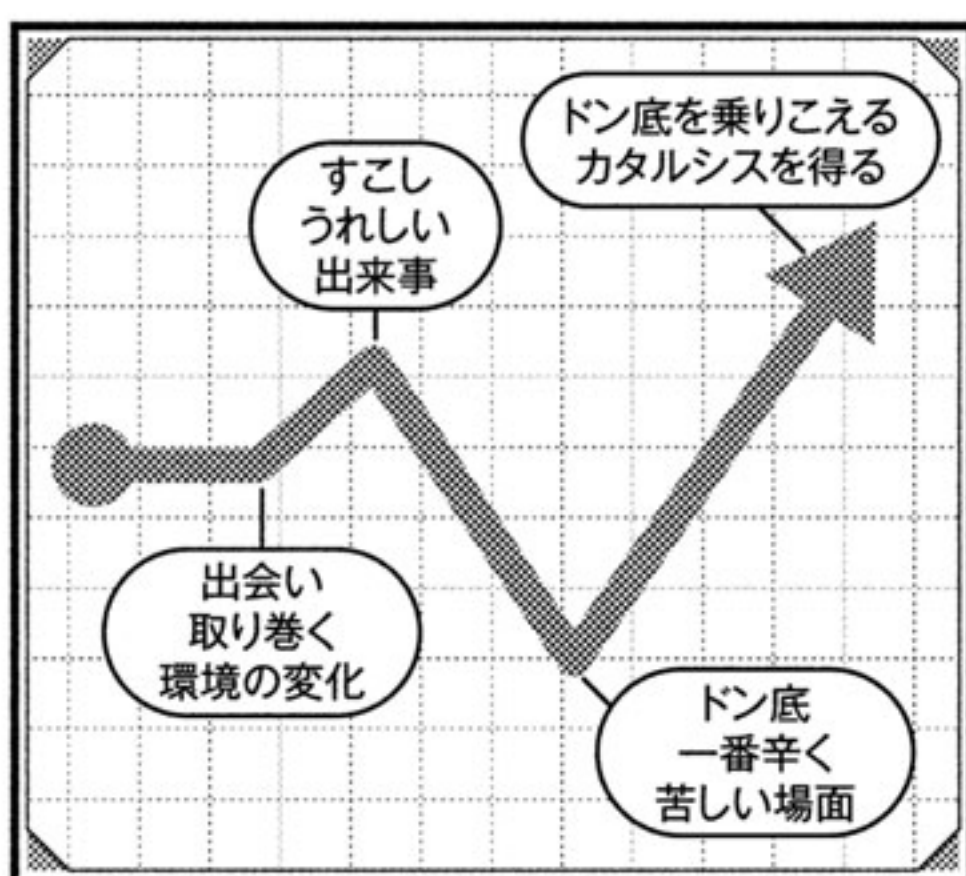
気持ちはもちろんありましたが、自分のモチベーションの維持のためにも、打ち合わせのペースを重視していました。

漫画作り

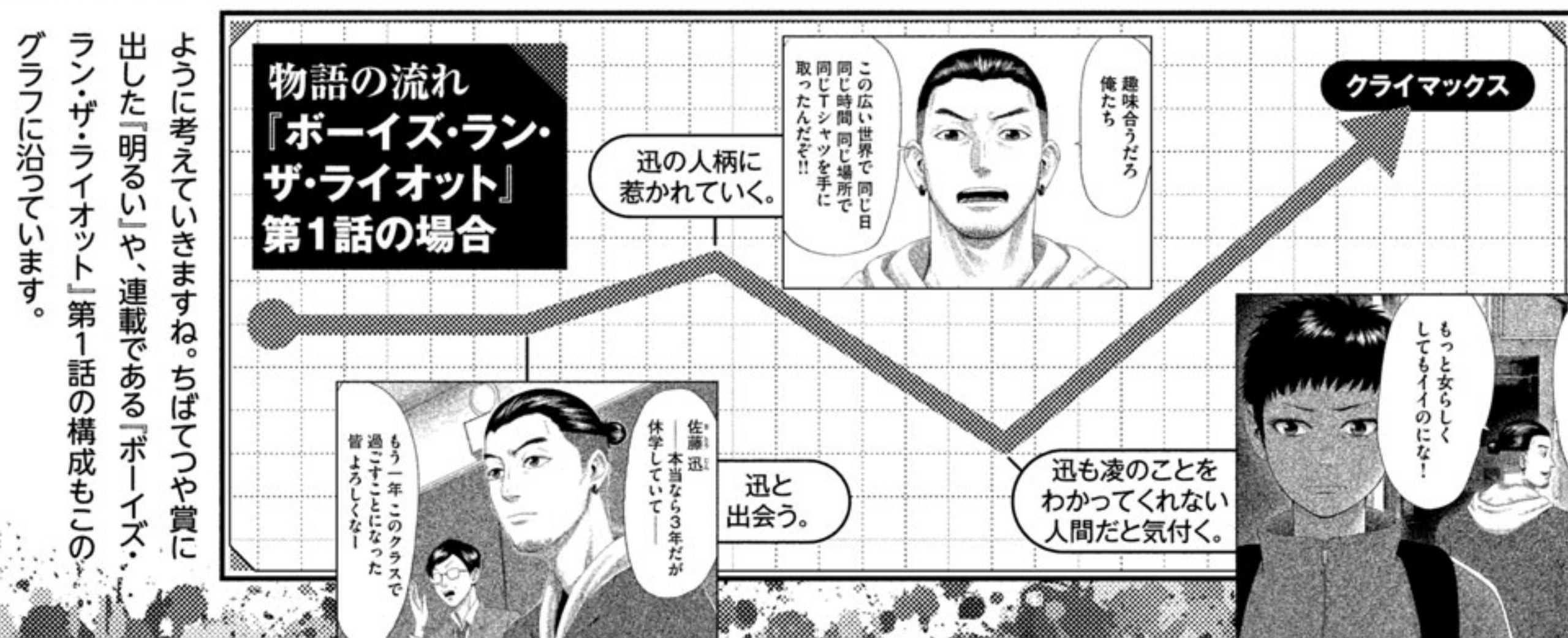
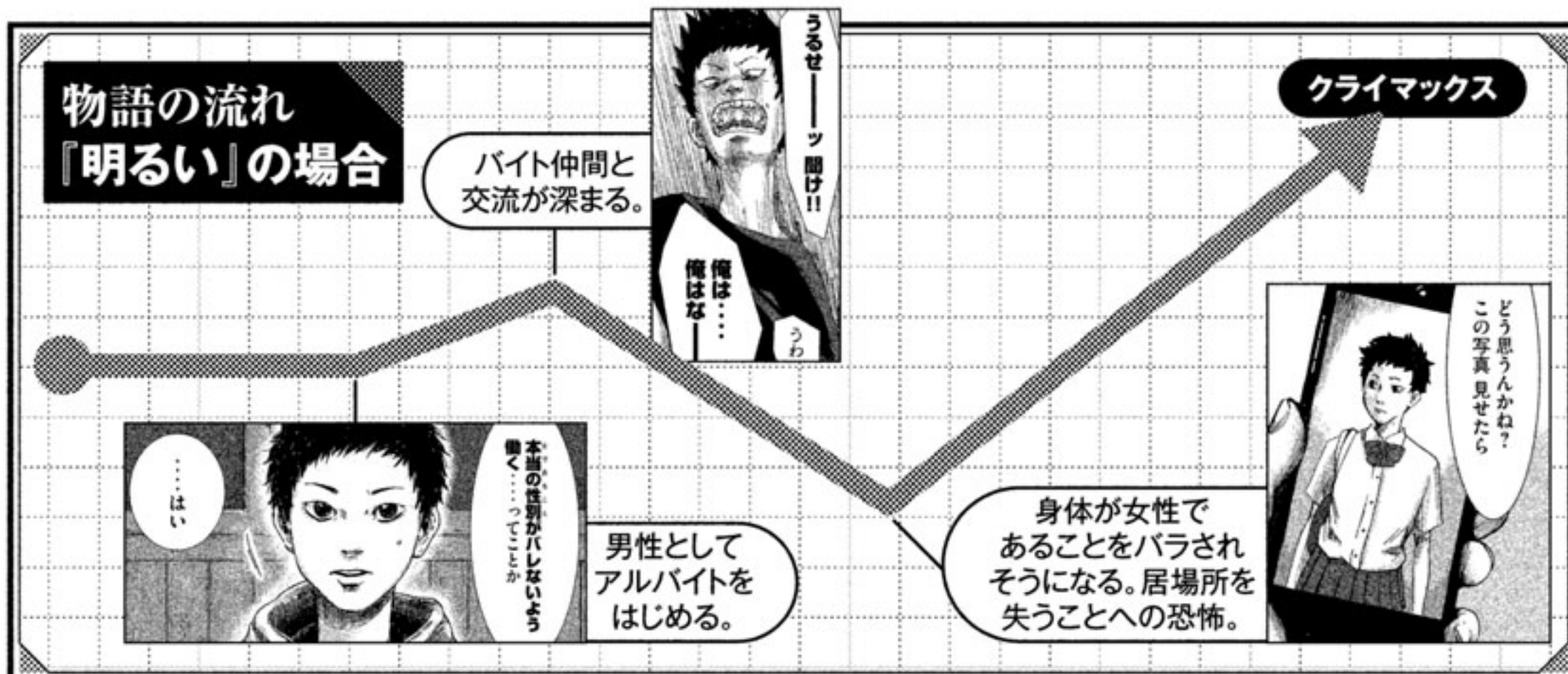
理詰めで考える

——学さんなりの漫画の作り方を教えてください。

これは本当に人それぞれではあると思うんですけど、自分は理詰めで作るのが向いているタイプです。物語がスタートして、ちよつとうれしいこと、変化がある。その後、主人公にとってのどん底が来て、最後はそれを乗り越えることでカタルシスが生まれる。担当さんに教えてもらった受け売りのグラフなんですけど……。



このグラフのそれぞれの頂点部分を最初に考えるようにしています。頂点となるシーンが最大限面白くなるように考えて、残りの部分はその頂点が繋がる



ように考えていきますね。ちばてつや賞に出した『明るい』や、連載である『ボーイズ・ラン・ザ・ライオット』第1話の構成もこのグラフに沿っています。

テーマからキャラクターへ

——キャラクターを作る上で重視していることはありますか？

トランスジェンダーである自分の一部を重ねた主人公を描き続けてきたので、一からキャラクターを作る人の参考になるかわからないのですが……。

キャラクターはテーマから、逆算して作ることが多いです。まず、自分が作品で描きたいテーマを決めて、それを伝えるにはどういうストーリーになるかを考えます。それから主人公や他の人物のキャラクターを作っていきます。「このテーマでストーリーならこういうキャラクター同士がぶつかり合うと楽しいんじゃないか」「このテーマを作品内で表現してくれるのはこういうヤツがいんじゃないか」などといった、試行錯誤を繰り返しますね。

「最悪」を探すこと

あと、主人公にとっての「最悪」の状況を作ることも意識しています。バスケの漫画『汗、痣、スキル』第48回月間新人漫画賞にて佳作を受賞を読み切りで描いたことがあって、それは「部活と暴力」をテーマにはじめたんです。自分自身が中学時代にバスケをしていたのですが、その部活が非常にハードで厳しいものでした。もし、当時の指導者に暴力すら加わったとしたら、主人公にとって「最悪」な人間になるなど。

また、ちばてつや賞に応募した『明るい』も同様に考えて作りしました。「トランスジェンダーとして生きてきた自分が直面したら、最悪〆と思える状況ってなんだろう」と考えて、牧（『明るい』の主人公、身体は女性だが、心は男性）をその状況に立ち向かわせることにしたんです。逆境に置かれた時にどう行動するか、によく言われるキャラクター性がにじみ出てくるのかも、と思っています。

ちばてつや賞が生んだ縁とヒント

自分が求められているもの

——ちばてつや賞を受賞して、自分の糧になったものはありますか？

ちばてつや先生や編集部への選評はたびたび見返しています（ちばてつや賞受賞者には、受賞作をまとめた合本が贈呈され、その中に選評が含まれている）。自分自身を客観的に見るためですね。やはり、商業誌で描かせてもらう以上、読者の方に楽しんでもらうのが不可欠だと思います。なので、自分の強みを評価してくれたことは自信にも、これからの指針にもなりました。ちばてつや先生の「人生や人間の生き様に、大事なメッセージを込められる作風に期待しているぞ」という言葉に応えたいですね。

人と話すことに意味がある

ちばてつや賞と直接関係あるかはわかりませんが、作家それぞれだとは思いますが、ちばてつや賞を通じて、漫画家を志す友人がたくさんできたのは、自分にとってためになることでした。企画の作り方や、ネームの描き方など多種多様で、すごく刺激になります。自分の考えていることを話すことで言語化する場ができたことはありがたかったです。連載ネームを提出するというのは、その編集部に対してプレゼンすることだと思っています。その力をつけてくれたと思っています。

出会いが生んだ迅というキャラ

（※迅：連載中の『ボーイズランザ・ライアウト』におけるもう一人の主人公）

また、漫画家や漫画家志望の方に拘らず、いろいろな方とお話する中で、キャラ作りにおけるヒントが見つかったこともありました。

その方は、かつて「無知だったためにGBTの方を傷つけてしまったことがあったことを後悔されている人でした。異性が好きな自分は、同性を好きになるという気持ちを完全に理解することはできない、だからこそ、きちんと考えなければいけなかった」ということを打ち明けてくれたのですが、その時、迅のキャラクターが



知らないからこそ考える。一つの出会いが迅というキャラクターを作った。

しっかりと固まったんです。

自分としては、同性を愛することを理解できない、イコール、拒絶ではないと考えていたこともあり、きちんと自らのスタンスを明かしてくれるその方の姿勢が、かつこよく見えて、「あ、これ迅のキャラに活かそう」と決めました。

◆、振り返るよ……◆

サボりを許してくれた先輩

——今の学さんから、昔の学さんを振り返って「やってよかった」と思ったことはありますか？

「やってよかった」とは少しずれるのですが『明るい』の原稿を、ちばてつや賞の応募期限最終日に間に合わせたことは、自分にとって大きな出来事でした。当時は映像の編集をする仕事で、けっこうな勤務時間だったのですが、仕事の合間をかくぐって作業を進めて、1カ月で原稿38ページを仕上げたんです。背景も自分で描かなくてはいけない中で、このペースは自分の中ではかなり頑張った方で、期限内に描ききるという経験を積めました。

正直なところ、先輩にも恵まれました。仕事しているフリして原稿を進めていた時もあったんです(笑)。先輩も多分気付い

ていたのですが、仕事に支障がでないならということで見逃してくれていました。周りの方に支えられていましたね。

遠回りにするかは自分次第

——新人漫画家の方に向けて、メッセージをお願いしますか？

メッセージを言える立場ではないので、昔の自分に向けて、ということでもいいですか……？

「遠回りにするかは自分次第」だと思っています。自分はデザインの専門学校を出て、会社員を経て漫画家としてデビューさせていただきました。今となつては専門学

校、会社員の時代があったことはすごい財産だと思っています。漫画を描いているだけでは知ることのできない知見を得られるからです。一見無駄なこと、遠回りに見えることでも、自分の手で価値あるものになることができる。漫画家はそういう仕事なのかなと思っています。あくまで、今はですけど(笑)

——ありがとうございます！
ありがとうございます！

学慶人氏の『ボーイズ・ラン・ザ・ライオット』第2話は31ページから!!

締め切り

2/29(土)

当日消印有効

結果発表

ヤマガ本誌
5月発売号(予定)

●応募資格: 年齢、経歴すべて不問! ●ページ数: 原則として、ページ数は10~50ページ以内。4コマ漫画は5~20ページ以内(10本以上)。●作品内容: 商業誌未発表のオリジナル作品であればOK! ●描き方: 原則としてB4サイズの本用紙などに、黒インクで書くこと。また、フキダシの中のネーム(セリフ)は鉛筆で書くこと。モノログなど、フキダシの外にあるネームは、原稿用紙の上にトレーシングペーパーを貼り、その上に鉛筆で書くこと。●デジタル原稿: デジタル原稿の応募も歓迎です。応募の際は、使用アプリケーションを明記し、原稿データとプリントアウトしたものを同封してください。●応募上の注意: 原稿には必ずページ番号を記入し、最終ページの裏面に、作品のタイトル・住所・氏名(あればペンネーム)・年齢・職業・電話番号(連絡先でも可)・漫画歴(あれば受賞歴)・アシスタント希望の有無・応募した理由を記入してください。なお、住所・氏名にはフリガナをふること。●応募方法: 持ち込み、郵送、WEB投稿いずれもOK。●その他: 応募原稿は完全返却します。ただし、海外への発送返却はいたしませんのでご了承ください。ちばてつや賞の全受賞作品は「コミックDAYS」に掲載されます。なお、入賞作の著作権は講談社に帰属します。

全受賞作品が「コミックDAYS」に掲載!!

<https://comic-days.com/>

応募要項

大賞 100万円
+ 受賞作掲載
本誌または増刊号

準大賞 70万円

優秀新人賞 50万円

準優秀新人賞 30万円

佳作 20万円
期待賞 10万円

※「優秀新人賞」以上は、「ヤマガ奨学金」(10万円×6ヵ月)を贈呈!!

あて先 〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21 講談社 ヤングマガジン編集部 「ちばてつや賞」係

持ち込み大歓迎!!

編集部は地下鉄有楽町線護国寺駅6番出口徒歩1分
必ず電話で予約をしていただき、平日の午後にご来社ください。

TEL03-5395-3461

WEBからも
投稿できる!

ヤマガHPの
新人賞ページを
チェック!